

チェックリスト (空欄は家族で話し合って記入し、マイリストを作りましょう)

非常持出品 ※高齢者、障がい者、乳幼児等がいる家庭は、それぞれ必要なものを準備しておきましょう。

☐ ラジオ (AM・FM 両方聴けるものが便利) ☐ 懐中電灯 (できればひとりに1個) ☐ 予備の乾電池 ☐ 携帯電話・充電器 救急薬品 パンソウコウ・ほうたい・ ☐ きず薬・鎮痛剤・胃腸薬等 持病のある人は常備薬も忘れずに 非常食品 ☐ 飲料水 ☐ 携帯食 (栄養補助食品など) ☐ 缶詰等 (火を通さないで食べられるもの)	食器等 ☐ 紙コップ・紙皿・ラップ ☐ ナイフ・缶切 ☐ 現金 (10円硬貨もあると便利) ☐ 通帳・印鑑・権利証など ☐ 健康保険証 ☐ 免許証・身分証明書 貴重品 ☐ 下着・靴下 ☐ 上着 (長袖・長ズボン) ☐ レインコート ☐ タオル	その他 ☐ ライター・マッチ ☐ ティッシュ・ウェットティッシュ ☐ ヘルメット・軍手 ☐ 生理用品 ☐ 紙おむつ わが家の持出品 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
---	--	--



家庭内備蓄品 ※大規模災害時に備えて、1週間程度の備蓄を推奨しています。

食品 ☐ 米 ☐ 副食品のおかず ☐ 菓子類 ☐ 調味料 水 飲料水は1人1日3リットルを ☐ 目安にペットボトルなどに用意しておく	燃料 卓上コンロ (予備のガスボンベは 多めに用意) やアウトドア用の 携帯コンロ・固形燃料 その他 生活用水 (1人3日以上) ※風呂や洗濯機に汲み置き ☐ 毛布・衣類・防寒着 ☐ 洗面具・衛生用品	その他 ☐ ビニールシート・新聞紙 ☐ 簡易トイレ・トイレ用紙 わが家の備蓄品 ☐ ☐ ☐ ☐
--	--	--



いざという時の連絡先

火事・救急・救助は 119

市行政機関	柳川市役所柳川庁舎	0944-73-8111
	柳川市役所大和庁舎	0944-76-1111
	柳川市役所三橋庁舎	0944-72-7111
	柳川市消防本部・柳川消防署	0944-74-0119
	柳川消防署東部出張所	0944-75-7193
県行政機関	南筑後県土整備事務所柳川支所	0944-72-4155
	筑後農林事務所	0942-52-5642
	南筑後保健福祉環境事務所	0944-72-2111
機関	柳川警察署	0944-74-0110
	柳川病院	0944-72-6171
	長田病院	0944-72-3501

行方不明・交通・防犯等は 110

指定地方行政機関	福岡管区気象台	092-725-3600
	国土交通省筑後川河川事務所	0942-33-9131
	国土交通省筑後川河川事務所矢部川出張所	0944-63-2520
	国土交通省筑後川河川事務所大川出張所	0944-86-2516
	国土交通省福岡国道事務所瀬高維持出張所	0944-63-4401
	国土交通省福岡国道事務所有明海沿岸道路出張所	0944-74-2930
	三池海上保安部	0944-53-0521
ライフライン機関	柳川市水道課（柳川庁舎）	0944-73-8111
	九州電力大牟田営業所	0120-986-211
	西日本ガス（株）	0944-74-1414
	NTT 西日本（株）	113

災害用伝言ダイヤル

TEL 被災地への通話がつながりにくい状況になった場合、安否などの情報を音声で録音・確認できる声の伝言板です。

伝言を**録音**する場合 ▶ **1 7 1 ▶ 1 ▶ 0944-□□-□□□□ ▶ 伝言を入れる (30秒以内)**
 音声による案内が流れます。「被災地」の方の電話番号 (市外局番から) ダイヤルする。

伝言を**再生**する場合 ▶ **1 7 1 ▶ 2 ▶ 0944-□□-□□□□ ▶ 伝言を聞く**

WEB インターネットを利用して被災地の方の安否などの情報を文字で登録・確認できる伝言板です。

災害用伝言板 (web171) の利用方法については、NTT のホームページをご覧ください。 <http://www.ntt.co.jp/saitai/web171.html>

携帯電話の災害用伝言板

災害時、各社ケータイサイトに開設された災害用伝言板にて、被災者の方の安否などの情報を登録・確認を行うことができます。

伝言を**登録**する場合 ▶ **171171 ▶ 災害用伝言板 ▶ 「登録」を選択して伝言を入力する。**
 伝言を**確認**する場合 ▶ **171171 ▶ 災害用伝言板 ▶ 「確認」を選択し、安否を確認したい人の携帯電話番号を入力して伝言を見る。**

主な災害用伝言板サイトアドレス

NTT ドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
 au <http://dengon.ezweb.ne.jp/>
 ソフトバンク <http://dengon.softbank.ne.jp/>
 ワイモバイル <http://dengon.ymobile.jp/info/>

保存版

柳川市



防災ガイドブック

ハザードマップつき



目次

防災情報について	1
情報を知るには	2
風水害に備えて	3・4
地震に備えて	5
避難行動	6
ハザードマップ①	7・8
ハザードマップ②	9・10
ハザードマップ③	11・12
津波ハザードマップ	13
避難所一覧	14



平成31年2月



防災情報について

避難情報と住民がとるべき行動

災害が発生し、又は、災害が発生するおそれが高まった場合、柳川市は避難を促す情報を発令します。情報には3種類あり、「避難準備・高齢者等避難開始」→「避難勧告」→「避難指示（緊急）」の順に災害による人的被害の切迫度は高まります。ただし、必ずしもこの順番通りに発令されるとは限らず、情報が出ない場合も考えられます。また場合によっては、避難情報が発令されない状況での居住者等、自らの判断による避難もありうることを理解しておきましょう。



気象警報

注意報の種類（気象庁発表）

注意報	災害が発生するおそれのあるとき。注意報には16種類があります。（大雨・洪水・大雪・強風・風雪・波浪・高潮・雷・濃霧・乾燥・なだれ・着氷・着雪・融雪・霜・低温）
警報	重大な災害が発生するおそれのあるとき。警報には7種類があります。（大雨・洪水・大雪・暴風・暴風雪・波浪・高潮）
特別警報	重大な災害が発生するおそれが著しく高まっているとき。特別警報には6種類があります。（大雨・大雪・暴風・暴風雪・波浪・高潮）

※「特別警報」が発表されたら、ただちに命を守る行動をとってください。

洪水に関する河川情報と避難判断の目安となる水位

洪水に関する避難の情報は、下記の水位を目安としますが、気象状況等を総合的に判断し、市が発令します。「避難勧告」などが発令されるときは、堤防決壊や越水の危険性が高まっていますので、すぐに避難しましょう。また、高齢者など避難に時間を必要とする人は、「避難準備・高齢者等避難開始」が発令されたら避難してください。



情報を知るには

情報の入手方法

市では、災害が予測される場合、段階的に「①避難準備・高齢者等避難開始」、「②避難勧告」、「③避難指示（緊急）」の順に発令を行います。これらの防災情報の周知は、防災無線や緊急速報メール、サイレン、広報車などで行いますので、必ず情報を取得し、発令された指示に従って避難を行いましょう。また最近では、テレビのデータ放送やインターネットで簡単に雨量や河川の水位情報などを見ることができます。

防災無線

災害時に住民にいち早く情報を伝達するため、市内各所に拡声器を設置しています。



個別受信機

ラジオ型の防災無線の受信機です。地域の代表者等に配布しています。



緊急速報メール

「緊急速報メール」により、緊急情報を配信します。

市では、災害時の避難勧告などの緊急情報をより多くの人にお伝えするため、緊急時に市内にいる人の携帯電話へ「緊急速報メール」の配信を行います。

○「緊急速報メール」とは、避難勧告などの緊急情報を市内にいる人の携帯電話（NTT ドコモ、au、ソフトバンク等）へ一斉にメールを配信するものです。

※機種により「緊急速報メール」を受信できない場合や受信設定が必要となる場合がありますので、詳しくは、各携帯電話会社へお問い合わせ下さい。

○配信する情報は、避難勧告や避難指示（緊急）など、緊急かつ重要な情報です。

○携帯電話を利用する人の費用負担や事前のメールアドレス登録は必要ありません。

テレビで調べる

デジタル放送の活用

地デジ放送受信中にリモコンのd(データ)ボタンを押すと気象情報の閲覧ができます。



いざ！
という時は
いつもと
違ったら

あらゆる手段を
使って情報を入手
しましょう。

インターネットで調べる

柳川市ホームページ

<https://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/>

福岡県防災ホームページ

<https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/index.php>

福岡県河川防災情報（雨量・河川水位）

<http://www.kasen.pref.fukuoka.lg.jp/bousai>

福岡管区気象台

<https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>

国土交通省九州地方整備局筑後川河川事務所

<http://www.qsr.mlit.go.jp/chikugo/>

九州防災ポータルサイト

http://www.qsr.mlit.go.jp/bousai_joho/kyusyubosai/

防災メール・まもるくん

福岡県による防災情報

いざという時のために登録し、情報収集に役立ててください。

メール登録無料

- 1 地震、津波、台風、大雨等の防災気象情報、避難勧告等の配信
- 2 災害時の安否情報通知
- 3 地域の安全に関する情報の配信
- 4 福岡県避難支援マップ

◆その他の配信情報

●地域の防災情報（防犯情報、光化学オキシダント情報、PM2.5 情報など） ●重大な情報（航空災害、鉄道災害など）

●生活情報（熱中症情報、紫外線情報、花粉情報、J R九州運行情報、福岡・北九州都市高速道路情報など） ●透析メール（透析医療機関の被災状況）

下記アドレスに空メールを送信し、その返信メールの内容に従って登録します。 ※詳しくは福岡県総務部防災危機管理局のHPをご覧ください。

メール配信システム

mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp



風水害に備えて

近年、梅雨前線の停滞や台風の接近などを原因として、同じ場所に大量の雨を降らせる「集中豪雨」や、大気の状態が不安定となって積乱雲が発達し、短時間に局地的に激しい雨を降らせる「局地的大雨（ゲリラ豪雨）」が発生する割合が増えています。柳川市でも、過去に大雨による河川のはん濫で、浸水被害が発生したり、暴風により電柱が倒れたり、農水産物の被害が発生したりしています。

集中豪雨や局地的大雨から身を守るには



河川、用水路などは、激しい雨が降ることや周りから雨が流れ込むことで、短時間で危険な水位となります。



排水路・側溝の排水能力を超える豪雨によって、土地・建物等の浸水が発生する現象（内水はん濫）が頻発しています。



離れた場所の雨にも注意。自分のいる場所で強い雨が降ってなくても、上流で降った雨が流れてきて、危険な状態になる場合があります。

！ 次のような前兆現象を感じたら速やかに避難するようにしましょう。



- 雷鳴や稲妻を確認したら建物内へ避難する。
- 大粒の雨やひょうが降り始めたら建物内へ避難する。
- 急に冷たい風が吹き始めたら注意する。
- 川の水かさが増えたり、濁ってきたらすぐ避難する。
- 川の近くで警告のサイレン音がしたらすぐに川から離れる。

活用しよう！ 気象庁のホームページ
気象庁HPの「降水ナウキャスト」情報は最新状況から1時間先までの5分毎の降水の強さを予報します。
「レーダー・ナウキャスト（降水・雷・竜巻）」
<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

雨の強さと降り方

1時間雨量	10~20mm やや強い雨	20~30mm 強い雨	30~50mm 激しい雨	50~80mm 非常に激しい雨	80mm以上 猛烈な雨
人が受けるイメージ	ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返すように降る。	滝のように降る。（ゴーゴーと降り続く。）	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
想定される被害	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。	側溝や、小さな川があふれる。	道路が川のようになる。	マンホールから水が噴出する。土石流が起りやすい。	大規模な災害が発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと被害の程度

風速	10~15m やや強い風	15~20m 強い風	20~30m 非常に強い風	30m以上 猛烈な風
人が受けるイメージ	風に向かって歩けなくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。	何かにつかまっていられない。立てられない。	屋外での行動はきわめて危険。多くの樹木が倒れる。
想定される被害	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	電線が振り始め。看板やトンネル板が外れ始める。	木の幹が折れたり根が揺らぐ。屋根瓦、屋根材が飛散するものがある。	電柱や外灯も倒れる。破損するものがある。住家で倒壊するものも出てくる。

警報と注意報

大雨注意報・洪水注意報

大雨・長雨などにより、河川が増水し、災害（土砂災害や低地の浸水など）が発生するおそれがあるときに発表します。

大雨警報・洪水警報

大雨・長雨などにより、河川が増水し、重大な災害（土砂災害や低地の浸水など）が発生するおそれがあるときに発表します。

記録的短時間大雨情報

この情報が発表された地域では近くで災害の発生につながる事態が生じていることを意味しています。

大雨特別警報

浸水や土砂災害などの重大な災害が発生するおそれが著しく大きい状況が予想されるときに発表します。

大雨時は早めの避難を

危険が迫る前に早めの避難が必要です。避難場所への移動（水平避難）だけでなく、近隣ビルの高層階や自宅の2階といった高い場所への移動（垂直避難）も考えましょう。既に浸水しているなど、避難場所への移動が危険な場合は垂直避難を行い救助を待ちましょう。

避難場所への移動（水平避難）



避難をするなら浸水前に早めの避難を！

高所への移動（垂直避難）



浸水後も安全に自宅滞在が可能なら家屋や家財の被害軽減を！

危険な避難



非常に危険です

！ やむなく浸水の中を歩かなければならないときの注意

- 長靴や裸足は危険です。運動靴をはきましょう。
- 長い棒や杖代わりにして、水の中の障害物に注意しましょう。
- マンホール等のふたが開いている場合があります。
- 歩ける深さの目安は膝下までです。流れが速い場合は非常に危険です。
- はくれないようにお互いの身体をロープで結んで避難しましょう。
- 切れた電線など、危険な場所には近寄らないようにしましょう。

竜巻から身を守る

竜巻は、発達した積乱雲に伴う強い上昇気流によって発生する渦巻き状の激しい突風です。短時間で、狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらすことがあります。

！ 接近している様子が見えたら直ちに退避行動を！

- 黒い雲の底が漏斗（ろうと）状に垂れ下がっている。
- 物やゴミ等が空中に巻き上がっている様子が見える。
- 「ゴーッ！」という音や、「キーン！」という音がする。
- 気圧の変化によって耳に異常を感じる。

1 頑丈な建物の中へ避難

- 避難する時は屋根瓦などの飛来物に注意する。
- 避難できない場合は、物陰やくぼみに身をふせ、両腕で頭と首を守る。

！ 危険！ 車庫・物置・プレハブへの避難は危険です

2 屋内でも窓や壁から離れる

- 窓、雨戸を閉め、カーテンも閉める。
- 家の中心部に近い、一階の窓のない部屋に移動する。
- 浴槽や丈夫な机の下に入り、両腕で頭と首を守る。

落雷から身を守る

落雷による感電死亡事故が毎年繰り返されています。正しい知識を身につけて速やかに安全な場所へ避難することが有効です。

！ 周囲が開けた場所は危険！ ！ 木のそばは危険！

- まわりより高い所に落ちやすい。落雷。グラウンドやゴルフ場、屋外プール、堤防や砂浜、海上などの開けた場所や、山頂や尾根などの高いところ。
- 側撃雷。落雷を受けた樹木等のそばに人がいると、その樹木等から人体へ雷が飛び移ることがあります。（側撃雷）木の下での雨宿り、電柱の下など。

1 雷鳴が聞こえたらすぐ避難

- 雷鳴が遠くても、雷雲はすぐに近づいてきます。屋外にいる人は安全な場所へ避難しましょう。

2 建物の中や自動車へ避難

- 建物や屋根付きの乗り物（自動車など）へ避難しましょう。

！ 危険！ 雨宿りで木の下に入るのは大変危険です

3 木や電柱から4m以上離れる

- 側撃雷の恐れがあるので、木や電柱から4m以上離れてください。右の図の三角の範囲内は比較的危険は小さいですが、なるべく早く屋内の安全な場所へ避難しましょう。
- 近くに避難する場所が無い場合は、姿勢を低くしましょう。





地震に備えて

地震発生時の行動

地震はいつ起こるか分かりません。地震が発生したとき、被害を最小限におさえるには、一人ひとりがあわてずに適切な行動をすることが極めて重要です。

地震発生

自分の身を守る

- ドアや窓を開けて逃げ道を確保する。



1～5分

家族の安全を確認

- 火元を確認し、出火していたら初期消火。
- 足をけがしないように靴をはく。
- 非常持出品を手元に用意する。
- 余震に注意する。



5～10分

隣近所の安全を確認

- テレビ・ラジオなどで正しい情報を確認。
- 家屋倒壊の危険などがあれば避難する。
- ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る。



10分～数時間

助け合いの心で

- 近隣住民と協力して消火や救出活動をする。
- 災害情報・被害情報を収集する。
- 生活必需品は自己備蓄でまかなう。
- 壊れた家には入らない。
- 引き続き余震に注意する。



緊急地震速報を見聞きしたら

緊急地震速報とは、地震の発生で最初の弱い揺れを検知し、そのあとの強い揺れを予想し素早く知らせる情報のことです。テレビやラジオ、防災行政無線、携帯電話、施設の館内放送、受信端末等で入手できます。速報が発表されて、数秒から数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間に身を守るための行動をとってください。※震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります！

家庭では

- 頭を座布団などで保護して、丈夫な机の下などに隠れる。
- あわてて外へ飛び出さない。



屋外では

- ガラスや看板などの落下物に注意しビルのそばから離れる。
- ブロック塀・門扉などの倒壊に注意する。



人が大勢いる施設では

- 係員の指示に従い落ち着いて行動する。
- あわてて出口に走り出さない。
- バックや買い物かごなどで頭を保護し、ショーケースなど倒れやすいものから離れる。



車の運転中

- ハザードランプを点灯し、徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車させてエンジンを切る。
- 急ブレーキは絶対に踏まない。



電車やバスの中では

- 将棋倒しや網棚からの落下物に注意し、つり革や手すりにはしっかりとつかまる。
- 乗務員の指示に従って落ち着いて行動する。



エレベーターでは

- 全ての階のボタンを押して、停止した階で、すぐ降りる。
- エレベーターに閉じこめられても、焦らず冷静になって「非常用呼び出しボタン」等での連絡を取る努力をする。



日頃の備え

阪神・淡路大震災で犠牲になった方々の約8割以上は家屋の倒壊や倒れてきた家具などによる圧死や窒息死、その後の火災によるものでした。地震による被害を軽減するために、家具の転倒防止や配置の検討を行いましょう。

耐震金具の活用

- 転倒防止金具・ボール
- 家具や室内の状況によって使い分ける。
- 重ね止用金具
- 扉・引き出し開放防止金具
- テレビや水槽はできるだけ低い位置に固定しておく。



家具の配置に注意

- 寝室には倒れそうな家具を置かないようにする。
- 就寝場所に家具が倒れてこないように配置する。
- 出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにする。



照明器具の補強

- 天井に直接取り付けタイプの照明が安全。
- 吊り下げ式の場合は、鎖と金具を使って数か所とめて補強する。
- 蛍光灯は蛍光管の落下を防止するため、両端を耐熱テープでとめておく。



ガラスの飛散防止対策

- 割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムをはる。
- 食器棚や額縁などに使われるガラスにも飛散防止フィルムをはっておく。



避難行動

災害時に慌てないように日頃から家族で避難のしかた・集合場所・連絡方法などを決めておきましょう。

避難する際の心得

1 非常持出品を準備しておきましょう

避難所の備品には限りがあり、高齢者や身体の不自由な人や乳幼児などへ優先的に配付されますので、自らが十分な準備をすると安心です。非常持ち出し袋には、両手の空くリュックサックが便利です。重すぎないかどうか、背負って確かめましょう。

重さの目安 男性15kg、女性10kg



2 避難先・避難ルートを確認しておきましょう

浸水に対して安全な避難先と避難ルートを、平時から家族や地域で確認しておきましょう。避難先は必ずしも役所が準備した避難所である必要はありません。親戚宅、知人宅、職場なども避難先の選択肢になり得ます。

3 避難の方法を確認しておきましょう

自家用車での避難は、緊急車両の通行を妨げるとともに、交通渋滞を巻き起こします。どうしても自家用車での避難が必要な場合は、より早めの避難開始が重要です。

5 ご近所に声をかけましょう

単独での避難は、思わぬ事態にあったときに危険です。隣近所に声をかけ集団での避難を心がけましょう。

4 早めの避難を心がけましょう

浸水してからの自宅外避難は危険です。身の危険を感じたら避難情報が届くのを待たずに自主的に避難を開始してください。



6 指定避難所に避難したときの注意

指定避難所は不特定多数の人々が一定期間滞在します。他の人に不快を感じさせないよう、お互いの気遣いが大切です。ペットを避難させた場合は、アレルギーや衛生面を考え、屋外につなぐ等の気遣いが必要です。

7 地域で協力を

高齢者や身体の不自由な人など、避難に時間を要する人については、地域で協力し早めに避難させるようにしましょう。

避難はせず自宅に滞在する際の心得

1 周囲が浸水してからの自宅外避難は危険です

屋内の2階以上へ(建物倒壊の危険がない場合)緊急に一時避難し、救助を待つことも検討してください。

2 身の安全を確保しましょう

地下室や低い場所にあるドアは開けておきましょう。水圧でドアが開かなくなり危険です。

3 水道・電気・ガス・トイレなどのライフラインの停止に備えましょう

ライフラインが復旧するまでの数日間のために飲料水や食料などの備蓄があると安心です。(3日分)



4 家屋や家財の被害軽減を図りましょう

● 簡易水防工法は、ご家庭にあるものを使って家屋への浸水の流入を防ぐ方法です。水深が浅い段階では有効です。

ゴミ袋による簡易水の工法
○ 40リットル程度の容量のゴミ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。これをダンボール箱に入れ、連結して使用します。

ポリタンクとレジャーシートによる工法
○ 10リットル又は20リットルのポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み、連結して使用します。

プランターとレジャーシートによる工法
○ 土を入れたプランターを、レジャーシートで巻き込み使用します。

止水板による工法
○ 出入口を長めの板などを使用し、浸水を防ぎます。

● 水に浸かってしまった家財は瞬間にしてゴミと化してしまいます。できる限り家財被害の軽減を図りましょう。

○ 通帳・保険証・パスポートなどの貴重書類は、浸水を免れる高い場所へ移動しておきましょう。

○ 自家用車は早めに安全な場所へ移動しておきましょう。移動が困難な場合であっても、せめてエンジン部分の浸水を防ぎましょう。

○ 高価な家電製品や思い出が詰まったアルバムなど簡単に移動できるものはできるだけ高い場所へ移動しておきましょう。

○ 畳は高い場所へ移動しておきましょう。食卓などの上に載せておくだけでも浸水を防げる場合があります。

5 被災後は安全を点検しましょう

- 浸水の被害にあったら念入りに消毒しましょう。
- 水害を受けたら衛生に注意しましょう。水道水は煮沸し、手の消毒を忘れないようにしましょう。
- 活動時にケガをしないよう、肌を露出しない服装で、ヘルメットも着用しましょう。
- 家の中は風通しを良くして乾燥させましょう。

災害時特に配慮を要する方々への支援

障がいのある方など、災害時特に配慮を要する方々は、災害発生時の対応に地域の皆さんの支援が必要になります。地域で協力し合いながら、安否確認、避難所への移動、避難生活を支援しましょう。

誘導する際のポイント

● 高齢者や傷病者の方

- 災害時にはおんぶして安全な場所まで避難する。
- リヤカーなどがあれば搬送に活用する。
- 複数の介護者で対応する。

● 目の不自由な方

- 声をかけ情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩前をゆっくり歩く。

● 耳の不自由な方

- 話すときは、口をはっきりと開け、相手に分かりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

● 車いすを利用している方

- 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後向きにして移動する。
- 介護者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。



第1次避難所 (地区避難所)			
番号	施設名	階層	電話番号 (0944)
1	柳川市民会館	2階建て	72-5168
2	柳河ふれあいセンター	2階建て	72-5478
3	城内コミュニティ防災センター	2階建て	73-9556
4	矢留うぶすな館	1階建て	73-8398
5	柳川農村環境改善センター	2階建て	73-6793
7	就業改善センター	2階建て	73-6790
8	蒲池農村環境改善センター	2階建て	73-6791
17	矢ヶ部コミュニティセンター	1階建て	74-2982

第2次避難所 (指定避難所)			
番号	施設名	階層	電話番号 (0944)
22	柳河小学校	3階建て	73-0175
23	城内小学校	3階建て	72-2232
24	矢留小学校	3階建て	73-1929
25	東宮永小学校	3階建て	72-3743
27	昭代第一小学校	3階建て	72-3444
28	昭代第二小学校	3階建て	72-3334
29	蒲池小学校	3階建て	72-6145
36	藤吉小学校	3階建て	72-2626
37	矢ヶ部小学校	3階建て	72-2836
41	柳城中学校	3階建て	72-6215
42	昭代中学校	3階建て	72-6195
43	蒲池中学校	3階建て	72-3840
44	柳南中学校	3階建て	74-3171
47	柳川市民体育館	2階建て	74-1221

福祉避難所 (災害時要支援者用)			
番号	施設名	階層	電話番号 (0944)
50	柳川総合保健福祉センター	2階建て	75-6200

一時避難施設 (洪水・津波等水害時)			
番号	施設名	階層	電話番号 (0944)
53	金子病院	3階建て	73-3407
54	長田病院	7階建て	72-3501
55	柳川病院	5階建て	72-6171
56	大城医院	3階建て	73-2427
58	柳川リハビリテーション学院	3階建て	72-1001
59	ハリウッドワールド美容専門学校	3階建て	72-2707
60	杉森高等学校	4階建て	72-5216

県立学校避難所 (大規模災害時)			
番号	施設名	階層	電話番号 (0944)
62	伝習館高等学校 (体育館等)	3階建て	73-3116
63	柳河特別支援学校 (体育館)	3階建て	73-2263

民間施設避難所 (大規模災害時)			
番号	施設名	階層	電話番号 (0944)
65	かんぼの宿柳川	5階建て	72-6295

医療機関 (病院)			
番号	施設名	階層	電話番号 (0944)
66	※柳川病院	5階建て	72-6171
67	柳川リハビリテーション病院	3階建て	72-1001
68	金子病院	3階建て	73-3407
69	※長田病院	7階建て	72-3501
70	甲斐病院	5階建て	73-1217

水位観測所等			
番号	観測所名	水位観測	ライブカメラ
80	紅粉屋 (筑後川)		○

水位情報やライブカメラは、筑後川河川事務所や福岡県のホームページでも見ることができます。

浸水範囲と浸水の深さ

水深	水深の目安
5.0m～10.0m 未満の区域	家屋全体が水没
3.0m～5.0m 未満の区域	2階の軒下までつかる程度
0.5m～3.0m 未満の区域	2階の床までつかる程度
0.5m未満の区域	大人の膝までつかる程度

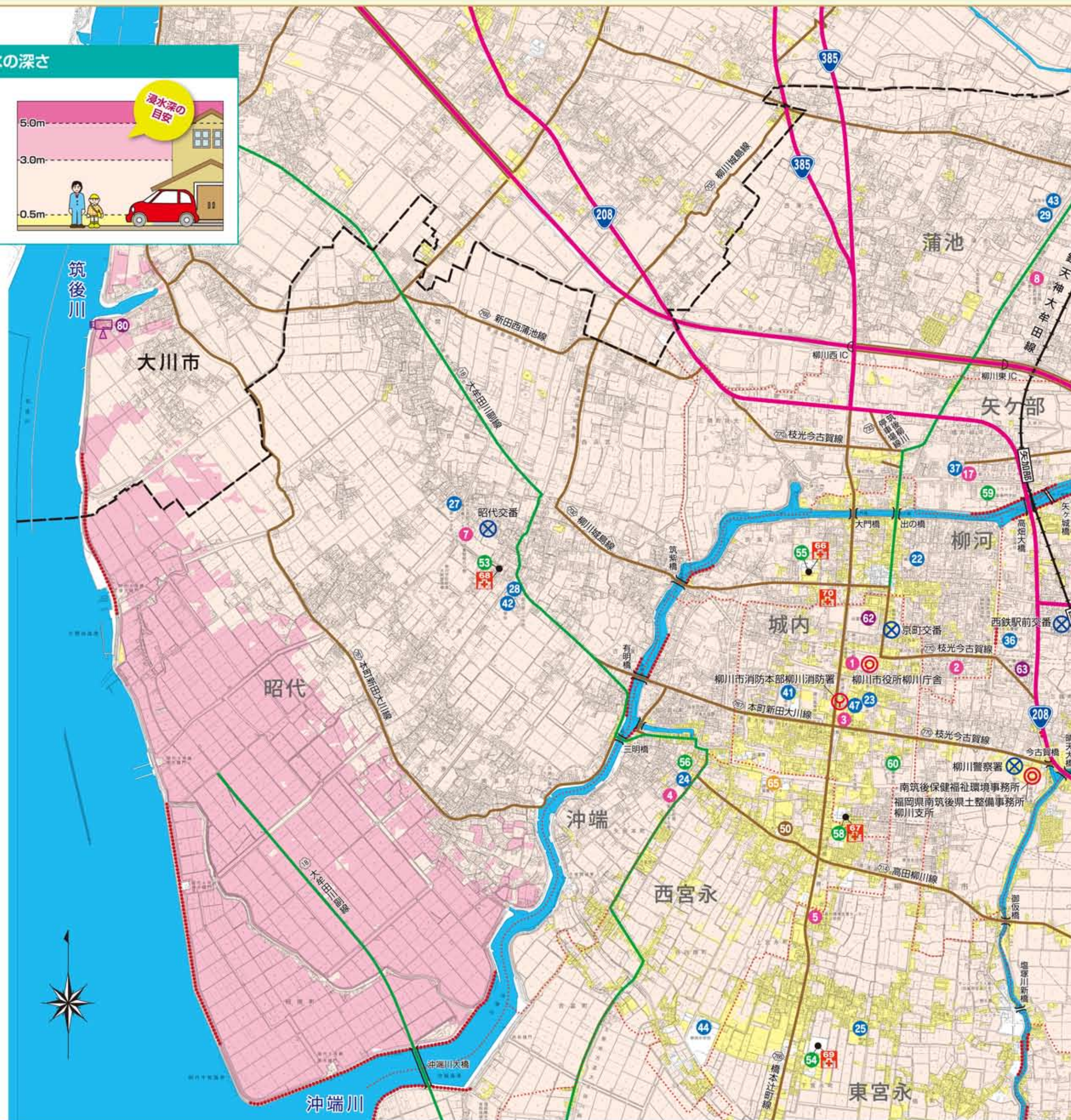


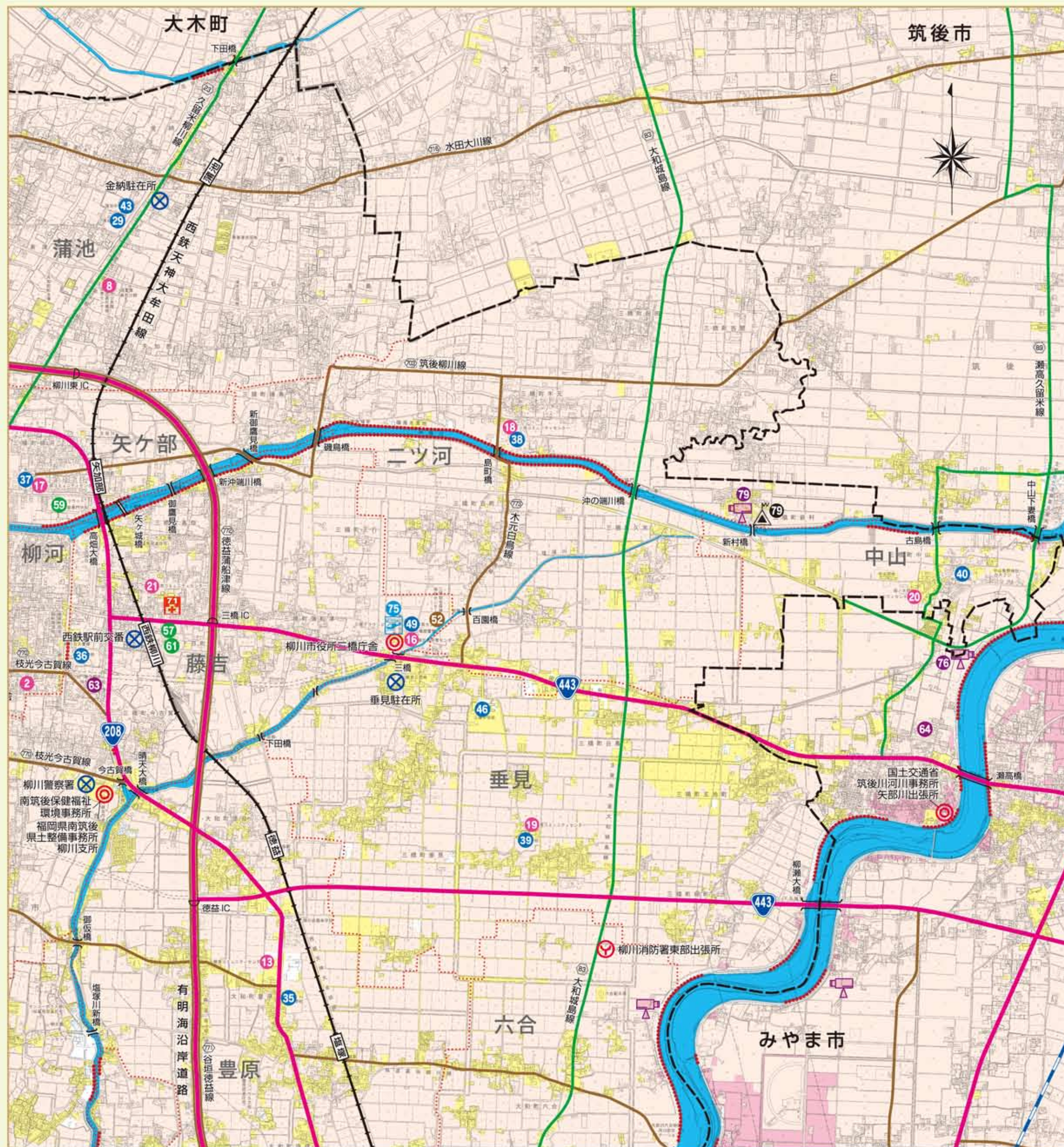
※水深が0.5mを超えると避難が非常に困難になりますので早めに避難しましょう。



凡例

- 国道
- 主要地方道
- 県道
- JR 鹿児島本線
- 西鉄天神大牟田線
- 重要水防箇所
- ◎ 市役所 (庁舎)・防災行政機関
- ⊗ 警察機関
- ⊕ 消防機関
- ⚡ 病院
- 第1次避難所
- 第2次避難所
- 福祉避難所
- 一時避難施設
- 県立学校避難所
- 民間施設避難所
- ⬆ 臨時ヘリポート
- 📡 水位観測所
- 📡 河川監視カメラ





浸水範囲と浸水の深さ

水深	水深の目安
5.0m～10.0m 未満の区域	家屋全体が水没
3.0m～5.0m 未満の区域	2階の軒下までつかる程度
0.5m～3.0m 未満の区域	2階の床までつかる程度
0.5 未満の区域	大人の膝までつかる程度



※水深が0.5mを超えると避難が非常に困難になりますので早めに避難しましょう。

位置図



凡例

- 国道
- 主要地方道
- 県道
- JR 鹿児島本線
- 西鉄天神大牟田線
- 重要水防箇所
- ◎ 市役所(庁舎)・防災行政機関
- ⊗ 警察機関
- ⊕ 消防機関
- ⚡ 病院
- 第1次避難所
- 第2次避難所
- 福祉避難所
- 一時避難施設
- 県立学校避難所
- 民間施設避難所
- Ⓜ 臨時ヘリポート
- 📡 水位観測所
- 📡 河川監視カメラ

第1次避難所(地区避難所)

番号	施設名	階層	電話番号(0944)
2	柳河ふれあいセンター	2階建て	72-5478
8	蒲池農村環境改善センター	2階建て	73-6791
13	豊原コミュニティセンター	1階建て	73-6767
16	柳川市三橋生涯学習センター	2階建て	73-4489
17	矢ヶ部コミュニティセンター	1階建て	74-2982
18	二ツ河コミュニティセンター	1階建て	74-2909
19	垂見コミュニティセンター	1階建て	72-5230
20	中山コミュニティセンター	2階建て	63-5524
21	藤吉コミュニティセンター	1階建て	74-6466

第2次避難所(指定避難所)

番号	施設名	階層	電話番号(0944)
29	蒲池小学校	3階建て	72-6145
35	豊原小学校	3階建て	72-3046
36	藤吉小学校	3階建て	72-2626
37	矢ヶ部小学校	3階建て	72-2836
38	二ツ河小学校	3階建て	72-2834
39	垂見小学校	2階建て	72-2837
40	中山小学校	3階建て	63-2409
43	蒲池中学校	3階建て	72-3840
46	三橋中学校	3階建て	72-5277
49	柳川市民三橋体育センター	1階建て	73-4489

福祉避難所(災害時要支援者用)

番号	施設名	階層	電話番号(0944)
52	三橋総合保健福祉センター	2階建て	72-7111

一時避難施設(洪水・津波等水害時)

番号	施設名	階層	電話番号(0944)
57	屋子医院	10階建て	72-0123
59	ハリウッドワールド美容専門学校	3階建て	72-2707
61	ホテルルートイン柳川駅前	7階建て	75-1551

県立学校避難所(大規模災害時)

番号	施設名	階層	電話番号(0944)
63	柳河特別支援学校(体育館)	3階建て	73-2263
64	山門高等学校(体育館)	3階建て	62-4105

医療機関(病院)

番号	施設名	階層	電話番号(0944)
71	柳川すき病院	5階建て	72-7171

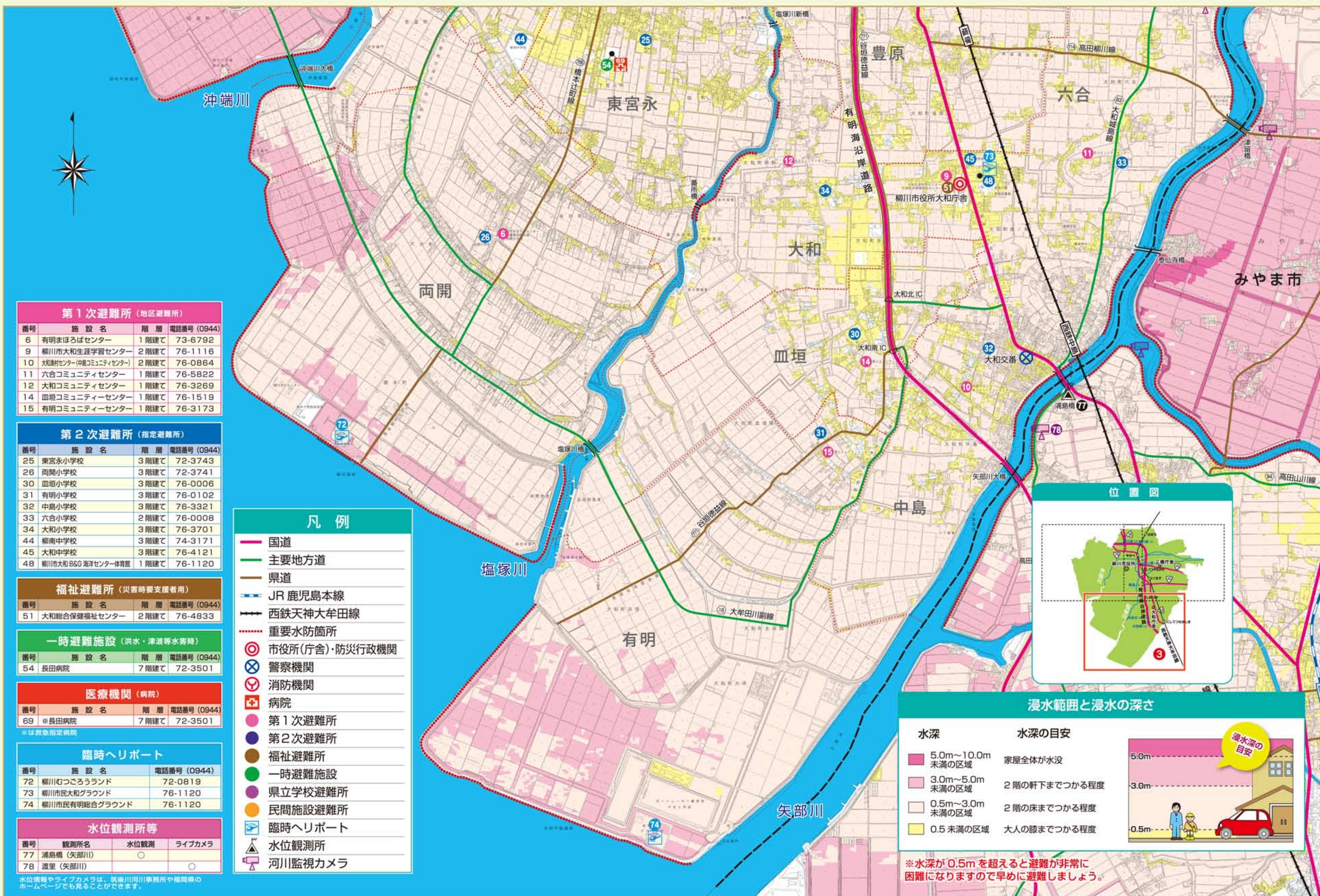
臨時ヘリポート

番号	施設名	電話番号(0944)
75	柳川市民三橋グラウンド	72-4489

水位観測所等

番号	観測所名	水位観測	ライブカメラ
76	上庄(矢部川)	○	○
79	新村橋(沖端川)	○	○

水位情報やライブカメラは、筑後川河川事務所や福岡県のホームページでも見ることができます。



柳川市津波ハザードマップ



柳川市避難所一覧

津波ハザードマップについて

2011年3月11日に発生した東日本大震災では広範囲にわたって河川堤防も被災し、中には堤防機能を失うような大規模な被害が生じた場所もありました。この津波ハザードマップは、福岡県が定めている津波浸水想定に基づいて作成しています。

想定では、地震で塩塚川、沖端川、筑後川の河川堤防の一部が沈下することにより、堤内地へ浸水します。

※この図は、浸水が発生した結果、各地域が最も浸水する深さを示しています。

避難のポイント

地震発生

地震発生から2〜3分で津波情報が発表されます。警報・注意報が出たら冷静な行動をとり、避難してください。

警報・注意報が解除されるまでは海岸や河川には近づかないようにしましょう！

地震が起きたら、まず避難

「より速く」ではなく「より高く」が重要です。強い地震（震度4程度以上を感じたとき、または弱い地震でも長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、ただちに海岸から離れ、高台など安全な場所に避難しましょう。

津波は繰り返し来襲します

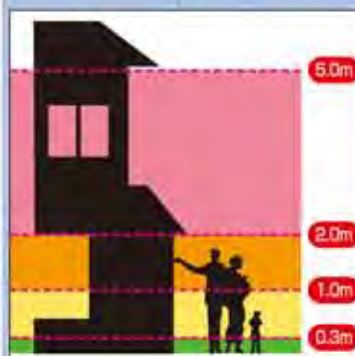
津波は繰り返し来襲する（発生から6時間以上）ので、津波警報・注意報が解除されるまでは避難したところにとどめてください。

津波は引き潮から始まるとは限りません

津波の前に引き潮があるとは限らないので、津波が来るかどうかの確認をするために海岸に出ることは止めて、直ちに避難してください。

※テレビ・ラジオ等の情報を待っている避難に間に合わないことがありますので、安全なところに避難してから情報を確認するように心がけてください。

500m



凡 例

津波浸水想定区域

- 浸水深 0.01m 以上 0.3m 未満
- 浸水深 0.3m 以上 1.0m 未満
- 浸水深 1.0m 以上 2.0m 未満
- 浸水深 2.0m 以上 5.0m 未満

指定緊急避難所

番号	名 称	所在地	階 層	指定緊急避難所
①	矢留うぶすな館	柳川市矢留本町 160	1 階建て	×
②	有明まほろばセンター	柳川市有明町 1490	1 階建て	×
③	就業改善センター	柳川市久々原 126-3	2 階建て	指定
④	矢留小学校	柳川市矢留本町 21	3 階建て	指定
⑤	両開小学校	柳川市有明町 1750	3 階建て	2 階以上部分限定で指定
⑥	昭代第一小学校	柳川市田島 810	3 階建て	指定

番号	名 称	所在地	階 層	指定緊急避難所
⑦	昭代第二小学校	柳川市西浜武 1490	3 階建て	指定
⑧	柳南中学校	柳川市上宮永町 645-2	3 階建て	指定
⑨	昭代中学校	柳川市西浜武 1494	3 階建て	2 階以上部分限定で指定
⑩	医療法人金子病院	柳川市久々原 65	3 階建て	2 階以上部分限定で指定
⑪	医療法人大城医院	柳川市矢留本町 30	3 階建て	2 階以上部分限定で指定

第 1 次避難所 (地区避難所)

大雨や洪水、台風の接近等により被害に合う恐れがある場合など、住民の皆さんが自主的に避難する際に利用する避難所です。

番号	施 設 名	階 層	電話番号 (0944)
1	柳川市民会館	2 階建て	72-5168
2	柳河ふれあいセンター	2 階建て	72-5478
3	城内コミュニティ防災センター	2 階建て	73-9556
4	矢留うぶすな館	1 階建て	73-8398
5	柳川農村環境改善センター	2 階建て	73-6793
6	有明まほろばセンター	1 階建て	73-6792
7	就業改善センター	2 階建て	73-6790
8	蒲池農村環境改善センター	2 階建て	73-6791
9	柳川市大和生涯学習センター	2 階建て	76-1116
10	大和漁村センター(中島コミュニティセンター)	2 階建て	76-0864
11	六合コミュニティセンター	1 階建て	76-5822
12	大和コミュニティセンター	1 階建て	76-3269
13	豊原コミュニティセンター	1 階建て	73-6767
14	血垣コミュニティセンター	1 階建て	76-1519
15	有明コミュニティセンター	1 階建て	76-3173
16	柳川市三橋生涯学習センター	2 階建て	73-4489
17	矢ヶ部コミュニティセンター	1 階建て	74-2982
18	二ツ河コミュニティセンター	1 階建て	74-2909
19	垂見コミュニティセンター	1 階建て	72-5230
20	中山コミュニティセンター	2 階建て	63-5524
21	藤吉コミュニティセンター	1 階建て	74-6466

第 2 次避難所 (指定避難所)

大地震や高潮等による大規模災害等が発生したとき、又は発生しようとしているときに開設する避難所です。

番号	施 設 名	階 層	電話番号 (0944)
22	柳河小学校	3 階建て	73-0175
23	城内小学校	3 階建て	72-2232
24	矢留小学校	3 階建て	73-1929
25	東宮永小学校	3 階建て	72-3743
26	両開小学校	3 階建て	72-3741
27	昭代第一小学校	3 階建て	72-3444
28	昭代第二小学校	3 階建て	72-3334
29	蒲池小学校	3 階建て	72-6145
30	血垣小学校	3 階建て	76-0006
31	有明小学校	3 階建て	76-0102
32	中島小学校	3 階建て	76-3321
33	六合小学校	2 階建て	76-0008
34	大和小学校	3 階建て	76-3701
35	豊原小学校	3 階建て	72-3046
36	藤吉小学校	3 階建て	72-2626
37	矢ヶ部小学校	3 階建て	72-2836
38	二ツ河小学校	3 階建て	72-2834
39	垂見小学校	2 階建て	72-2837
40	中山小学校	3 階建て	63-2409
41	柳城中学校	3 階建て	72-6215
42	昭代中学校	3 階建て	72-6195
43	蒲池中学校	3 階建て	72-3840
44	柳南中学校	3 階建て	74-3171
45	大和中学校	3 階建て	76-4121
46	三橋中学校	3 階建て	72-5277
47	柳川市民体育館	2 階建て	74-1221
48	柳川市大和 B&G 海洋センター体育館	1 階建て	76-1120
49	柳川市民三橋体育センター	1 階建て	73-4489

災害の規模や被害状況によって
開設されない避難所もあります。

災害時は柳川市が発令する
避難情報に注意して下さい。

福祉避難所 (災害時要支援者用)

大地震や高潮等による大規模災害等が発生したとき、又は発生しようとしているときに、在宅等での介護等が困難な災害時要支援者が避難する際に利用するために開設される避難所です。開設する場合は、市から広報周知を行います。

番号	施 設 名	階 層	電話番号 (0944)
50	柳川総合保健福祉センター	2 階建て	75-6200
51	大和総合保健福祉センター	2 階建て	76-4833
52	三橋総合保健福祉センター	2 階建て	72-7111

一時避難施設 (洪水・津波等水害時)

洪水、高潮、津波の時に、住民の皆さんが一時的に緊急に避難する耐震性のある高いビルです。

番号	施 設 名	階 層	電話番号 (0944)
53	金子病院	3 階建て	73-3407
54	長田病院	7 階建て	72-3501
55	柳川病院	5 階建て	72-6171
56	大城医院	3 階建て	73-2427
57	星子医院	10 階建て	72-0123
58	柳川リハビリテーション学院	3 階建て	72-1001
59	ハリウッドワールド美容専門学校	3 階建て	72-2707
60	杉森高等学校	4 階建て	72-5216
61	ホテルルートイン柳川駅前	7 階建て	75-1551

県立学校避難所 (大規模災害時)

大地震、高潮等の大規模な災害時に開設します。

番号	施 設 名	階 層	電話番号 (0944)
62	伝習館高等学校 (体育館等)	3 階建て	73-3116
63	柳河特別支援学校 (体育館)	3 階建て	73-2263
64	山門高等学校 (体育館)	3 階建て	62-4105

民間施設避難所 (大規模災害時)

大地震、高潮等の大規模な災害時に開設します。

番号	施 設 名	階 層	電話番号 (0944)
65	かんぼの宿柳川	5 階建て	72-6295

医療機関 (病院)

番号	施 設 名	階 層	電話番号 (0944)
66	※柳川病院	5 階建て	72-6171
67	柳川リハビリテーション病院	3 階建て	72-0001
68	金子病院	3 階建て	73-3407
69	※長田病院	7 階建て	72-3501
70	甲斐病院	5 階建て	73-1217
71	柳川すぎ病院	5 階建て	72-7171

※は救急指定病院

臨時ヘリポート

番号	施 設 名	電話番号 (0944)
72	柳川むつころうランド	72-0819
73	柳川市民大和グラウンド	76-1120
74	柳川市民有明総合グラウンド	76-1120
75	柳川市民三橋グラウンド	73-4489

水位観測所等

番号	観測所名	水位観測	ライブカメラ
76	上庄 (矢部川)		○
77	浦島橋 (矢部川)	○	
78	渡里 (矢部川)		○
79	新村橋 (沖端川)	○	○
80	紅粉屋 (筑後川)		○
81	船小屋 (矢部川)	○	○
-	松原橋 (沖端川)	○	○
-	日向神ダム	○	

水位情報やライブカメラは、筑後川河川事務所や福岡県のホームページでも見ることができます。